

知事記者会見

本県の医療の現状について

～県からのお願い～

令和4年8月16日

県民の皆さまへお願い

- 発熱や咳などの症状による救急外来受診や歩行可能な方の救急車利用により、救急外来がひっ迫しています
- 症状が重い方(水が飲めない、呼吸が苦しい、ぐったりして動けない、顔色が悪い等)のために、救急外来を守りましょう

ご協力をお願いします

- 症状が重い方以外は、救急外来の受診はお控えください
- 検査を目的とした救急外来の受診はおやめください

※仕事や家庭の都合により、夜間が受診しやすいなどのご事情もありませんが、医療の現状をご理解いただきご協力をお願いします

- 新型コロナウイルスに感染していても、発症当日では陰性になる可能性が高く、正確な診断結果を得ることができません
- 落ち着いて症状を見極めたうえで受診の必要性をご検討ください

【発症翌日以降の抗原検査キットにおける検査感度】

	発症翌日	2日後	3日後
検査感度	約50%	約70%	約80%

県民の皆さまへお願い

- 発熱や咳の症状が出た方は、まずは市販の解熱鎮痛剤で様子を見ていただき、症状が続いた場合には、平日の日中に最寄りの診療・検査医療機関を受診してください
- 受診先については、次の順で確認をお願いします
①かかりつけ医 ⇒ ②自らマップ検索 ⇒ ③受診・相談センター
(0120-071-126)

長崎県 コロナ診療マップ

検索



事業者の皆さまへお願い

- 従業員が新型コロナウイルス感染症に感染し、自宅等で療養を開始する際、医療機関や保健所が発行する「検査の結果を証明する書類」を求めないでください

(令和4年8月10日 厚生労働省事務連絡)

医療機関の状況

職員の感染や濃厚接触による休業者も増えている中、2年以上に及ぶコロナ渦での診療に対し、心から感謝申し上げます

- コロナ診療に尽力されている医療機関に偏りがみられており、二次救急医療機関を中心に医療逼迫が生じています
 - 約7割弱の診療所(本県の指定割合は九州最下位)が、診療・検査医療機関に未登録です
 - 診療・検査医療機関『515施設』のうち約6割の診療所が、かかりつけ患者のみの対応になっております
 - 診療・検査医療機関のうち約2割の診療所が週に100件以上の発熱外来の診療をいただいている一方、約2割の診療所は週10件以下の診療件数に留まっております
 - 休日・夜間に発熱した県民の皆さまに、受診・相談センターから、在宅当番医(休日の日中)や休日夜間急患センター(休日の夜間)を地域によっては紹介できておりません

- 発熱された方が診てくださる医療機関に辿りつけず、結果、直接二次救急医療機関を受診されている方が少なからずおられます

1. かかりつけ診療所にお電話 ⇒ 発熱しているため診ていただけない

2. 診療・検査医療機関にお電話 ⇒ かかりつけでないため診ていただけない

3. かかりつけ以外でも診る医療機関にお電話 ⇒ 予約いっぱい診ていただけない

【二次医療機関の医療従事者の声】

優先度の高い救急患者の診療に支障が生じている。たいへんなご尽力をいただいている診療所もあるが、もっと多くの診療所の先生に軽症の方は診ていただきたい。中核病院なのだから軽症であっても発熱患者をすぐに診るのはあたりまえとお叱りを受けた。救急外来の現状を理解いただきたい。

医療機関の皆さまへお願い

- 診療・検査医療機関の登録と公表及びかかりつけ患者以外も含めたご診療を何卒お願いいたします
- 休日夜間は、受診・相談センターから在宅当番医や休日夜間急患センターのご紹介をさせていただくこともありますので、どうかご理解ください

改めまして日夜コロナ対応にご尽力いただいている医療機関の皆様
に感謝申し上げます

一般医療の制限状況

コロナ患者の急増に加え、医療従事者の感染も増加していることから、コロナ病床がひっ迫し、コロナ以外の一般医療にも影響が出ています

《コロナ患者受入医療機関(45施設)の診療等の制限状況》

	7月15日	7月22日	7月29日	8月5日
外 来	3施設	➤ 4施設	4施設	➤ 7施設
入 院	4施設	4施設	➤ 10施設	➤ 12施設
救 急	3施設	➤ 4施設	➤ 6施設	➤ 7施設
職員の休業(陽性者)	117人	➤ 213人	➤ 367人	➤ 420人
職員の休業(濃厚接触者)	109人	➤ 194人	➤ 195人	➤ 228人

休日・夜間の救急外来の現状

診療時間外(休日・夜間)の緊急を要さない救急外来受診の増加によって医療機関に大きな負担がかかっています

主要な救急外来対応医療機関(本土)における救急患者の受入数

	7月	8月	
夜間休日の救急外来受診者数	589件	744件	1.3倍 増
うち発熱等コロナ疑いの患者数	113件	244件	2.2倍 増
うち救急車による搬送者数	31件	48件	1.6倍 増

※本土地区 主要8医療機関の各月上旬の6日間(金曜日～水曜日)の実績

救急搬送困難事案(※)数 (長崎・佐世保の合計)	7/18-24	7/25-31	8/1-7	8/8-14	
	39件	33件	48件	51件	徐々に増加傾向

※医療機関への受入照会4回以上かつ現場滞在時間30分以上

救急外来対応医療機関 医療従事者の声

- 症状が軽く歩くこともできる方が検査のために救急車で来院される
- 夜間に検査してほしいと来院される方が多数おられる
- 一般医療に影響が出ている
- 優先度の高い救急患者への対応に支障をきたしている

- 陽性と判明すると、騒ぎ立てられる
- 時に心無い言葉を浴びせられる
- 救急外来の医師も看護師も疲弊
- 職員の心労はピークに達している

安易な受診を避けて

医療従事者へのご配慮を

オミクロン株の重症化率(インフルエンザとの比較)

全国でみても現在のオミクロン株で、高齢者以外の方(60歳未満)が重症化するリスクは、季節性インフルエンザと同程度です

		重症化率	
		60歳未満	60歳以上
新型コロナ(オミクロン株)	全国(※1)	0.03%	2.49%
	長崎県(※2)	0.01%	0.58%
季節性インフルエンザ(※3)		0.03%	0.79%

コロナ重症化率: 「重症に至ったが死亡とならなかった患者、重症化して死亡した患者、重症化せず死亡した患者の合計」を「感染者数」で割ったもの

(注1)新型コロナと季節性インフルエンザの重症化の定義が厳密には異なっている点に留意

<出典等> ※1、※3 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料から引用
※2 長崎県データから算出

高齢者以外の方の重症化率は低く、
症状が軽い場合は急いで受診する必要はありません

発熱外来受診のフロー

コロナ症状が出た場合でも、慌てず、まずは**症状をよく見てから受診の必要性を判断**してください

新型コロナウイルス 発熱外来の受診のフロー

「医療機関受診及び救急車利用に関する4学会声明」から引用

発熱・のどの痛みなどの症状が出た

仕事や学校を休んで自宅療養を始める

重い症状に当てはまる？

- 水が飲めない
- ぐったりして動けない
- 呼吸が苦しい
- 顔色が悪い乳幼児 等

どれかが当てはまる

救急受診

救急車利用リーフレット



どれも当てはまらない

どれも当てはまらない

次のどれかに当てはまる？

- 発熱が4日以上
- 65歳以上
- 基礎疾患がある
- 妊娠中

どれかが当てはまる

市販の薬を使う
(解熱鎮痛剤を購入し備える)

受診が必要
(平日の診療時間内の受診)

➤ 受診が必要な場合も、特に緊急を要する場合以外は、診療時間内にかかりつけ医での受診をお願いします

《参考》県内の感染状況等について

※病床使用率は医療圏毎に以下の数値(8/11~改定)に基づき算出
 上段…緊急時病床数:677床(長崎:236床、佐世保:167床)
 (下段)…最大確保病床数:467床(長崎:164床、佐世保:98床)

8/15公表時点

※R4.7.28~ 目安改定

県全体	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
病床使用率(※)	43.0% (54.3%)	45.6% (57.6%)	45.4% (57.4%)	48.2% (61.0%)	52.3% (66.1%)	47.7% (60.3%)	48.1% (60.8%)	46.6% (64.8%)	47.7% (66.3%)	49.4% (68.7%)	50.0% (69.5%)	49.1% (68.2%)	51.1% (71.0%)	51.3% (74.3%)	52.0% (75.4%)	51.7% (74.9%)	56.3% (81.6%)	58.6% (85.0%)
重症病床使用率	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	7.5%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	2.5%	5.0%	5.0%	7.5%	7.5%	7.5%
新規感染者数 (10万人/週)	2252人 (966.8人)	2022人 (1001.9人)	1793人 (1013.8人)	1206人 (1043.6人)	2145人 (1052.5人)	2605人 (1096.5人)	2724人 (1124.0人)	2359人 (1132.2人)	2377人 (1159.2人)	2560人 (1217.7人)	1915人 (1271.7人)	2546人 (1302.3人)	3370人 (1360.6人)	3398人 (1412.0人)	2392人 (1414.5人)	2569人 (1429.1人)	2981人 (1461.2人)	1941人 (1463.2人)
療養者数(10万人/日) (入院+宿泊+自宅)	1166.4人	1265.1人	1168.1人	1385.5人	1486.4人	1568.2人	1616.9人	1673.1人	1795.7人	1922.1人	1978.6人	2064.5人	2207.0人	2342.3人	2378.2人	2539.6人	2641.8人	2668.0人

長崎市	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
病床使用率(※)	52.4% (66.9%)	55.3% (70.6%)	56.3% (71.8%)	54.8% (69.9%)	54.8% (69.9%)	47.1% (60.1%)	48.1% (61.3%)	43.9% (61.6%)	47.8% (67.1%)	51.3% (72.0%)	48.7% (68.3%)	50.4% (70.7%)	55.2% (77.4%)	58.5% (84.1%)	60.6% (87.2%)	60.2% (86.6%)	64.0% (92.1%)	63.1% (90.9%)
新規感染者数 (10万人/週)	764人 (925.2人)	558人 (971.1人)	625人 (993.8人)	378人 (1017.1人)	489人 (1002.2人)	710人 (1014.1人)	824人 (1062.8人)	727人 (1053.7人)	691人 (1086.2人)	817人 (1133.2人)	837人 (1245.4人)	670人 (1289.6人)	985人 (1356.8人)	1182人 (1444.3人)	806人 (1463.6人)	710人 (1468.3人)	1013人 (1516.2人)	901人 (1531.8人)
療養者数(10万人/日) (入院+宿泊+自宅)	1014.9人	1172.8人	779.5人	1429.7人	1569.7人	1635.7人	1637.7人	1776.7人	1972.3人	2151.0人	2257.3人	2456.5人	2572.1人	2738.1人	2898.4人	3136.5人	3303.7人	3426.4人

佐世保市	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
病床使用率(※)	41.8% (57.1%)	42.5% (58.2%)	41.8% (57.1%)	52.2% (71.4%)	61.9% (84.7%)	58.2% (79.6%)	55.2% (75.5%)	56.6% (87.8%)	54.6% (84.7%)	59.2% (91.8%)	59.9% (92.9%)	57.9% (89.8%)	55.3% (85.7%)	51.5% (87.8%)	50.3% (85.7%)	46.7% (79.6%)	50.3% (85.7%)	55.7% (94.9%)
新規感染者数 (10万人/週)	421人 (1070.6人)	443人 (1113.4人)	334人 (1122.4人)	195人 (1154.9人)	501人 (1144.6人)	436人 (1155.3人)	494人 (1161.1人)	380人 (1144.2人)	443人 (1144.2人)	452人 (1192.7人)	172人 (1183.3人)	485人 (1176.7人)	559人 (1227.3人)	533人 (1243.3人)	321人 (1219.0人)	362人 (1185.7人)	480人 (1197.3人)	218人 (1216.2人)
療養者数(10万人/日) (入院+宿泊+自宅)	1086.7人	1138.1人	1132.3人	1141.8人	1307.9人	1539.7人	1577.2人	1566.1人	1592.0人	1633.5人	1629.8人	1755.6人	1919.6人	2107.1人	2212.4人	2411.8人	2545.8人	2549.1人

指標	レベル1 (注意報)	レベル2-I 警戒警報	レベル2-II 特別警戒警報	レベル3 危機事態警報	レベル4 緊急事態宣言
病床使用率	-	20%	35%	50%	100%
社会機能の制限状況	-			一般診療や福祉サービス等への深刻な影響	

《参考》入院医療の状況

8月15日公表時点の入院患者数と病床使用率(医療圏別)

※ 上段 …緊急時病床数
(下段) …最大確保病床数

医療圏	長崎	佐世保 県北	県央	県南	本土 計	五島	上五島	壱岐	対馬	合計
入院 患者数	149	93	54	59	355	8	3	16	15	397
病床数※	236 (164)	167 (98)	99 (74)	69 (41)	571 (377)	30 (23)	19 (17)	26 (21)	31 (29)	677 (467)
病床 使用率※	63.1% (90.9%)	55.7% (94.9%)	54.5% (73.0%)	85.5% (143.9%)	62.2% (94.2%)	26.7% (34.8%)	15.8% (17.6%)	61.5% (76.2%)	48.4% (51.7%)	58.6% (85.0%)

フェーズ	緊急2	緊急2	4	緊急2	—	4	4	4	4	—
------	-----	-----	---	-----	---	---	---	---	---	---

●入院患者:重症3名、中等症・軽症394名

全感染者数:135,694名

●宿泊施設療養者:363名 ●自宅療養者:33,116名 ●調整中:0名

●回復者数:100,515名 (施設療養者:1,128名)

●死亡者数:175名(80代以上が7割超) ※うち、1月以降102名

《参考》社会機能の制限状況と感染段階レベルについて

レベル3以降は、経済活動に大きな影響を及ぼすような、より強い行動制限の実施を検討する段階
 ⇒病床使用率に加え、一般診療や福祉、交通など**社会機能全体への影響を踏まえ、総合的かつ慎重に判断**

新型コロナウイルス感染段階対応の目安(R4.7.28改定)

指標	レベル1 (注意報)	レベル2-I 警戒警報	レベル2-II 特別警戒警報
	レベルは県全体で判断		
病床使用率	-	20%	35%
社会機能の制限状況		-	
参考指標	重症病床使用率	-	

病床使用率や社会機能の制限状況等も踏まえ、移行を慎重に判断

レベル3 危機事態警報	レベル4 緊急事態宣言
50%	100%
一般診療や福祉サービス等への深刻な影響	
50%	100%

指標	現状(8/15時点)	
病床使用率	58.6%	
社会機能の制限状況	一般診療	外来、入院及び救急搬送受入を制限する施設が増加傾向。特に入院は3割弱が新規予約停止や既予約の延期など一部制限している状況
	福祉児童	サービス提供に制限のある事業者が増加傾向にあるが、全体として大きな影響は生じていない
	交通	乗務員の感染により一部のバス路線や鉄軌道で減便が生じて(今後の予定も含む)いるが、県民生活への大きな影響は生じていない
	行政機能	職員の感染により、県民生活に直結する行政の窓口機能等への影響は生じていない
(参考指標) 重症病床使用率	7.5%	

病床使用率はレベル3基準(50%)を超過しているが、「**社会機能全体**」としては、**深刻な状況には至っていない**

↓

レベル2-IIを維持し、強い行動制限は実施しない